

本日の搭乗にあたって



本日 便を利用させていただく
〇〇〇 すばる
□□ 昂 (18歳) と申します。

重度の知的障害 と、自閉症の障害 があります。

人に危害を加えるような行動や、飛行中のパニック、てんかんなどの発作はありませんが、乗務員さんの指示を本人が理解して行動することは難しく、親や付き添いの仲介が必要です。

障害の特徴で、音量の調節が難しい独り言、突然の笑い声、手を叩く、体を前後に揺する、足を貧乏ゆすりするなどがあり、長時間のフライトや体調によってはこういった行動を注意しても止めることができない時間帯が時々あります。

これまでに長時間のフライトを何回も経験しておりますが、ここ数年は特別な配慮を必要とすることや、ご迷惑をかけ問題になるようなことはありませんでした。

が先頃、機内でお隣の座席になったお客様が、昂のこういった一連の行動を不快に思われ、お客様から「手を叩くのをやめさせてほしい」「座席を変わってほしい」との申し出がありました。

大変恐縮しております。

できる限り機内で不快となる行動は止める努力はいたしてまいります、何分障害ゆえの止められない行動なので、他のお客様の寛容なご理解に頼る部分が大きく、場合によっては今後も同様のことが生じるかもしれないと心配があります。

何等かの場合には可能なご配慮があれば有難く存じます。

機内サービスの際に

アレルギー、好き嫌いはありませんので、機内サービスは何でも大丈夫です。

飲み物や食事の選択を本人に直接質問していただくと、本人は希望の物を自分で選択する、キャビンアテンダントさんの声掛けに答える等が難しく、助けが必要で返答までに時間がかかります。

が、できるだけ自分で選択、答えることを体験させたいと思いますので、余裕があれば本人に向けゆっくり声をかけ、待っていただけると嬉しいです。

その他

同じ自閉症でも個人個人特徴は様々ですが、一般的な自閉症の理解を乗務員の皆さんが理解してくださっていると安心です。

自閉症の人は視覚的な手がかりがあると理解しやすいので、機内サービスの食事や飲み物は（写真付きだとなおよい）選択メニューリストを提示しながら「どちらがいいですか?」「どれにしますか?」とゆっくり声掛けしていただくと、答え易くなると思います。



肉料理



魚料理